

第1章・ゆとり教育世代の子どもの文化

子のやる気 親の気づき



〇〇19

あつし塾長の

「電子書籍、黒船の襲来か!?」という新聞の見出しを目にしました。アナログの時代に育った私が初めて「デジタル」を手にしたのは、大阪万博のお土産に頂いた卓上カレンダ―だったと思います。文字盤がカード式になっていてカチャカチャ

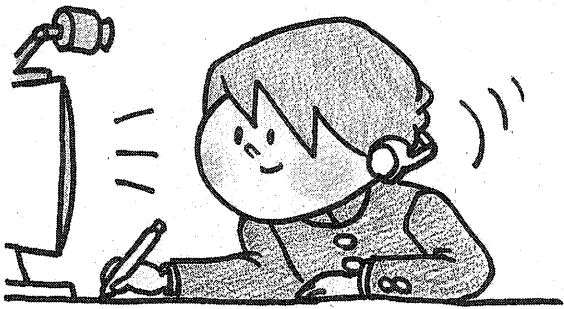
携帯②

と曰付が変わり「これがデジタルか!」と驚いたことを覚えていません。あれから40年、書籍まで紙ではなくデジタルになるようになってい

ます。携帯電話が完全にデジタルに移行した10年前、確か「第3世代」という触れ込みだったと思います。当時、たまたま携帯電話で激しくメールのやりとりをしている女子高生を見かけたことがありますし

スイッチ人間になるな

アナログ的つながり大切



by yoriko

た。険しい表情で「何よ、頭にくるー!」などどつぶやきながらメールを読んでは返信を繰り返していたのですが、メールを送る操作を終了した瞬間、ニヤッと笑みをこぼし携帯電話を畳んでしまいました。不思議に思い事情を聞いてみました。けんかをしている相手から最後のメールを読まなずに送り返し、その瞬間自分のアドレスを交換してしまったと言う

のです。相手にしてあげる、けんか相手が出た自然姿を消してしまっただけです。スイッチ一つで存在を消してしまっただけです。友達との連絡は、直接話をすか、電話、手紙ぐらしか手段がなく、学校では先生に見つかからないようにメモのようにな手紙が教室中を回ることもありました。連絡したいことよりも、たわいないおしゃべり

の延長のような内容の方が多かっただろうし、悪口や陰口もあつたはず。学校にも近所にも仲良しもいれば、仲間外れもありました。いじめっ子に意地悪されたり、独りぼっちを味わったり、友達とけんかをしていたは「絶交!」を宣言したり…。しかし、どんなけんか相手であってもスイッチ一つで存在を消してしまふという事は考えられない時代でした。

今まさに「黒船」により開かれたデジタルの時代なのであれば、子育て真ん中の中のご家庭は「鎖国」で子どもを守るのではなく、道具はデジタルでも決してスイッチ人間にはなるなと生き方を正しく教えることが大切なのではないでしょうか。子どもたちには、人と人とのかわりというアナログ的なつながりの中で、悩みや苦しみを乗り越える貴重な経験を通して、心豊かに成長してほしいと思います。

長 (畑山篤志学塾塾長)

メモ

通信メデ、化する「コミ、早くからイン、に接してきた係にも影響、中、学生ら、義について、が大学の間、全国大学、会が昨秋、△た調査では、伝えること「プログラ、る」が3割、半数が大勢とを好み、の会話を昔、4月中旬、い平さんは、大学(東京、た。客員教、ミューケー、講義。学生、を埋めた。「出は、匠に『太鼓、もすべて聞、た』。学生の、テンポよく、落語も織り、円滑にする、実践する。1、さんは「自、かばかり考、家は聞き手、

話

教育

く、くつなどにウイルスが付いて、ほかの動物にうつしてしまうおそれがあります。英国では2001年に口蹄疫が大流行し、牛など約650万頭を処分しました。

宮崎県では今年4月、口蹄疫と疑われる牛が都



牛が口蹄疫にかかっていかどうかを調べる獣(う)医師

5月、宮崎県、トップしてしま、もありです。

宮崎県の牛は「牛」と呼ばれ、お

ニュース なぜなに